

月華古咲

げっかみだれぞっち



# あらすじ



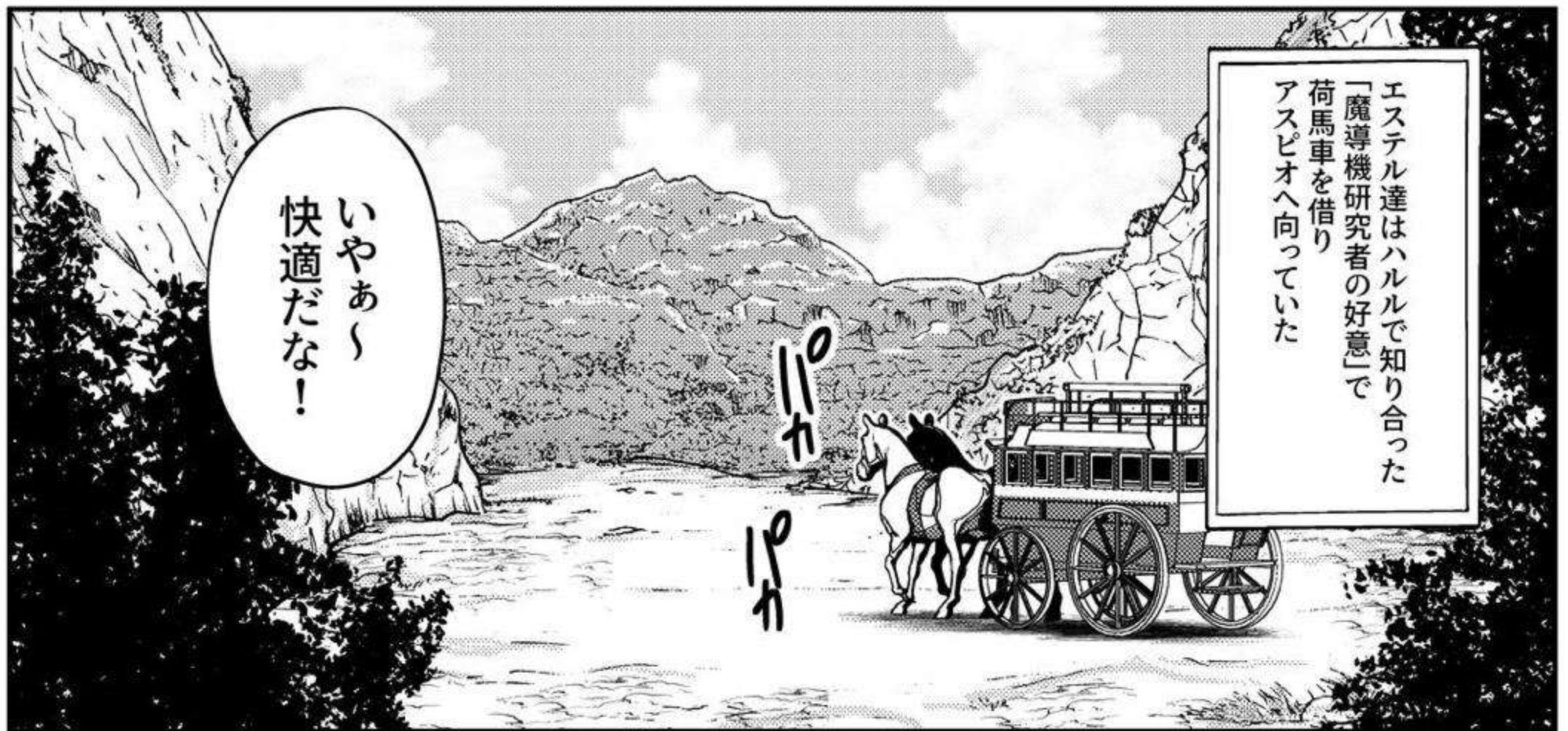
ある目的のため城を出る決心をしたエステル。  
旅の道中ハルルのブラスティアを復活させるべく、  
樹に直接治療術を施した。

その結果、見事に結界を復活させることに成功した  
エステルだったが大量のエアルを使った自分の身体を  
顧みない無茶な行動により倒れてしまう。

そこに「魔導器研究者」と名乗る男がエステルを  
治療すると言い自分の屋敷へと運び込んだ。  
意識が朦朧とするエステルは早く身体を治すため  
男の治療を受けることに。

だが案の定、男の目的はエステルとの性行為であり  
流されるまま研究者とその助手に抱かれてしまう。

再び快樂の虜となったエステルの身体には  
火照りと疼きが宿り始めていた。。。。。。。



エステル達はハルルで知り合った「魔導機研究者の好意」で荷馬車を借りアスピオへ向っていた

いやあ〜  
快適だな！

カ  
カ



本来だったら徒歩で行かなきゃなんねえと覚悟していたが…

優しいおっさんと  
エステルのおかげだぜ！

そうか？  
エステルの身体も  
治してくれたし  
俺は感謝してるぜ  
なあエステル！

は…はい

ドキ  
ドキ

カ  
カ

あんなに警戒してたのに…

そういえば治療って  
なにしたの？

カ、カロール！  
そんなこと女の子に  
聞いちゃいけません！

カ  
カ

え!?  
そうなの…!?  
ごめん…



さっ！開いたよ！

お前本当は  
盗賊ギルド  
なんじゃないか？

カッ  
カッ

そんなことないよ！  
ま、こんなこと出来るのは  
僕くらいだけだね！



ったく…許可証がねえと  
中に入れてくれねえし…  
中の情報も教えてくれねえとは…

空気が湿ってるのは  
洞窟の中に町が  
あるのが  
原因かもしれないね

いや…いまのは皮肉で  
言ったんだが…

空気だけじゃなく人間も  
陰気くせえ町だぜ

カッ  
カッ



結構人が多いな…  
なのにこの静けさは  
なんだ…？

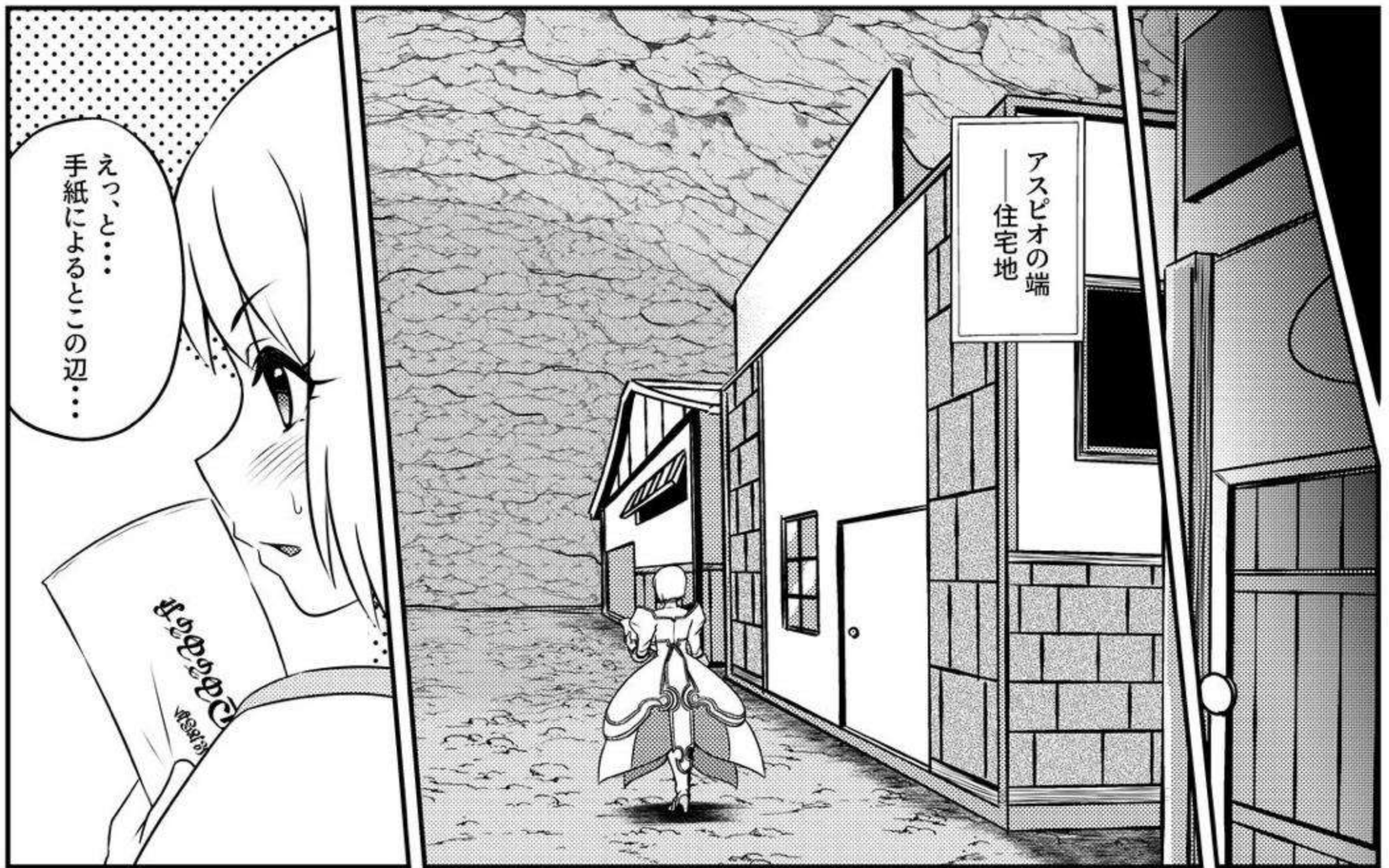
僕たちが裏口から  
勝手に入って来たのに  
みんな気にしてない  
みたいだね

世界中から魔導器の  
研究者が集まっていると  
聞いたことがあります

つまり全員変人か…  
とりあえず  
聞き込みしてみるか

ズト…  
ズト…







ですから私の「知人」に  
協力するよう  
手紙をお書きしますよ！

んあ…♡  
あ、ありがとうございます…  
♡  
んん♡



いえいえ…  
エステリーゼ様を助けたい  
そう言いましたからね



そら！  
出るぞ！

ふうん、もう何回したかも  
数えてないな

先生次は  
俺の番ですよ！

また…おちんぼ  
おっ♡

結局…あの後  
朝まで抱かれて…

何度もイッたはずなのに…  
全然うずきが治まらない…

だめだめ！  
もう忘れないと！

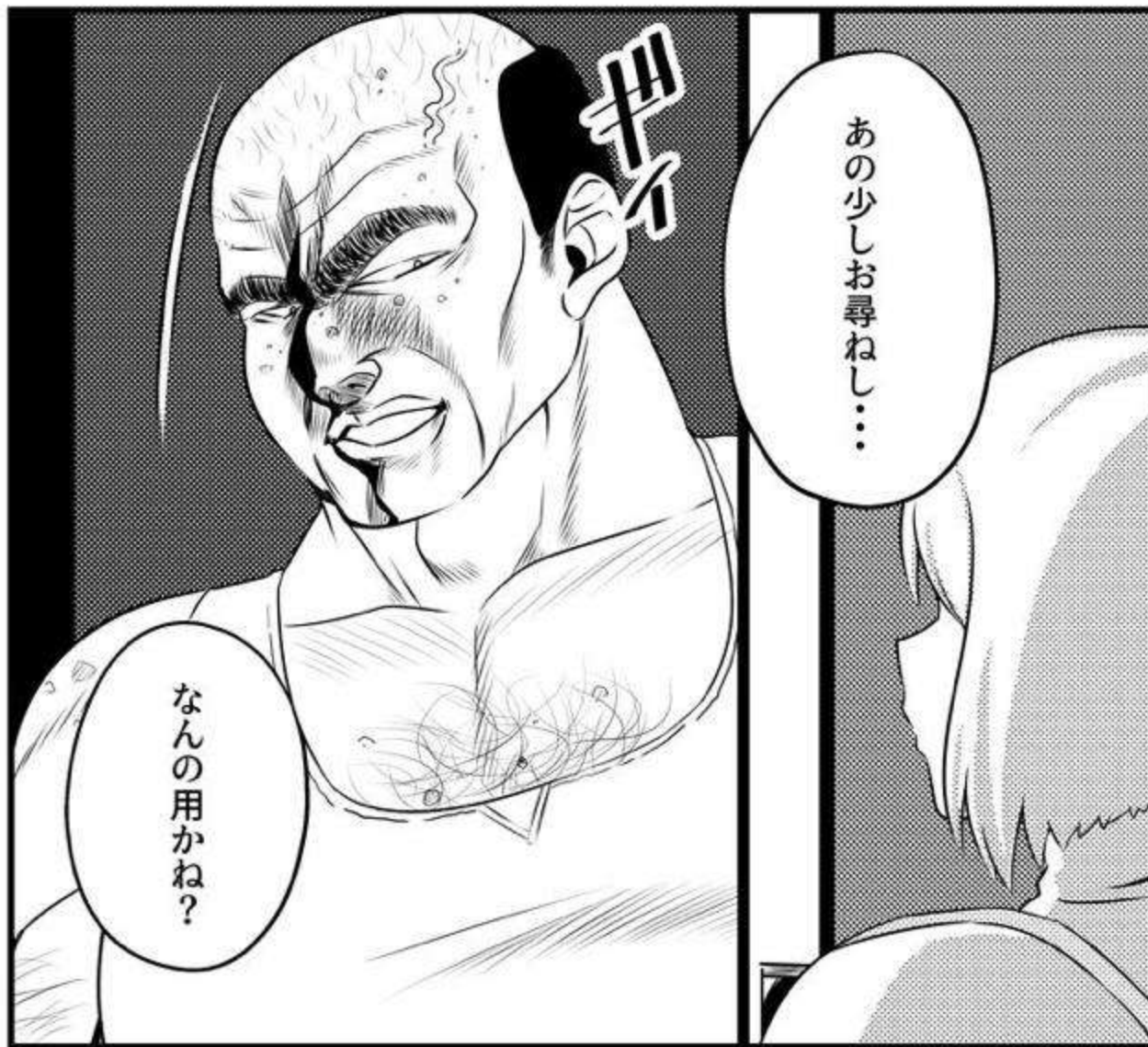
あの時は仕方なく  
してしまっただけ  
もうあんなことは  
しちゃいけない！

今は早く協力者の方に  
会って情報を…！

ここで間違いない…

すみません！  
少し聞きたいことが





あの少しお尋ねし...

なんの用かね?



ったく...  
誰だいったい

人が寐てる  
ところを...

あ...



あいつと私は  
知り合いでしてねえ

ま、まさか...!  
協力者って...



ん...  
おや?



え...!

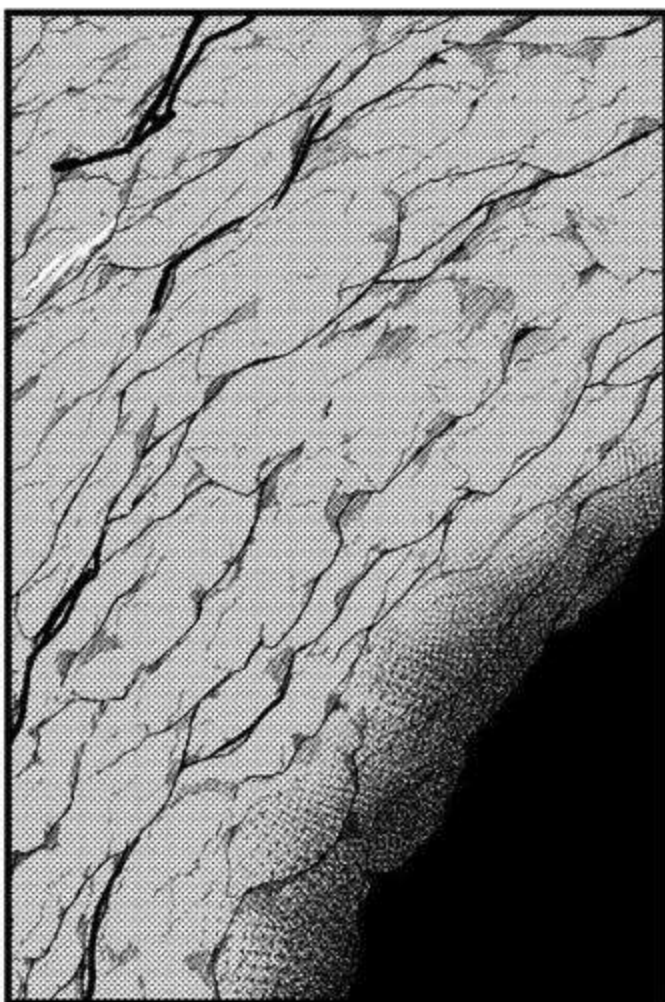
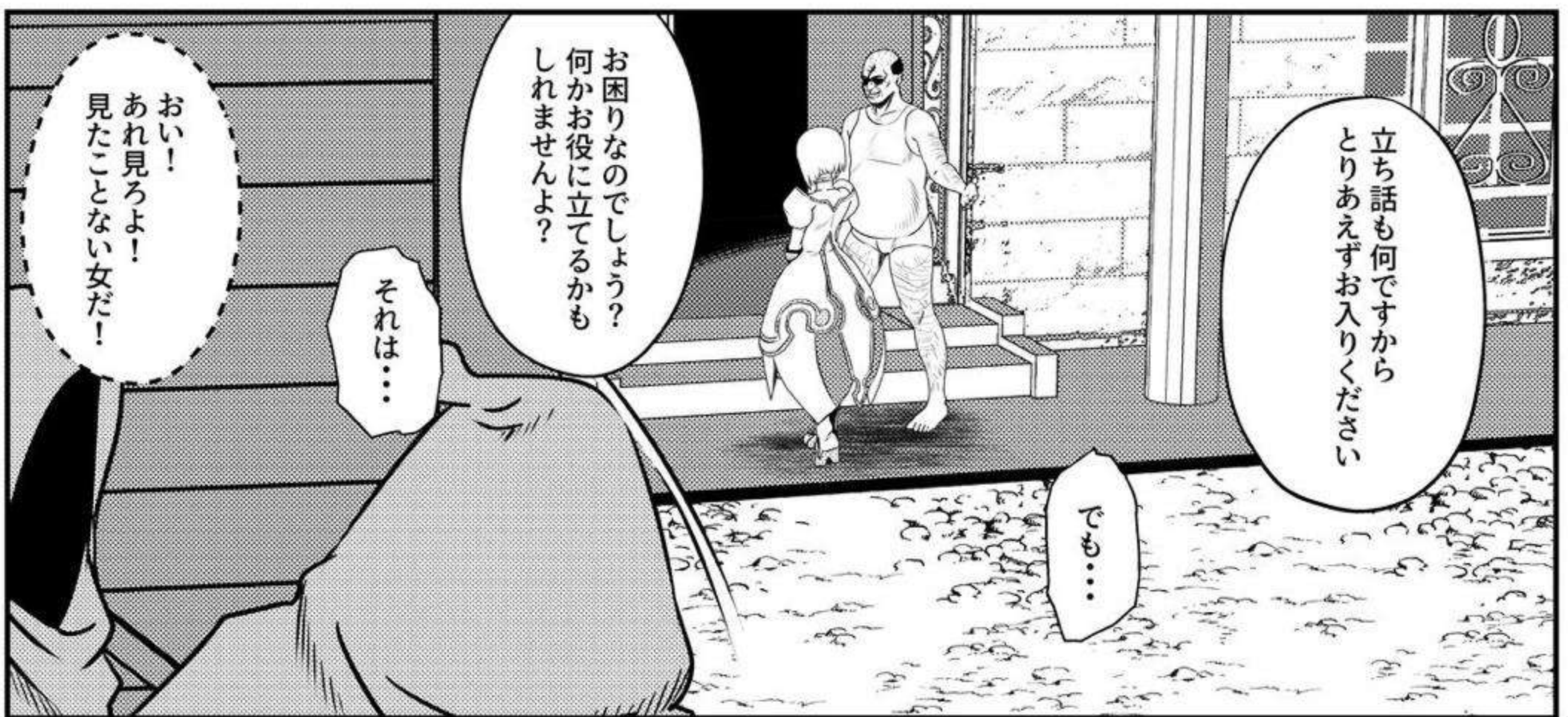


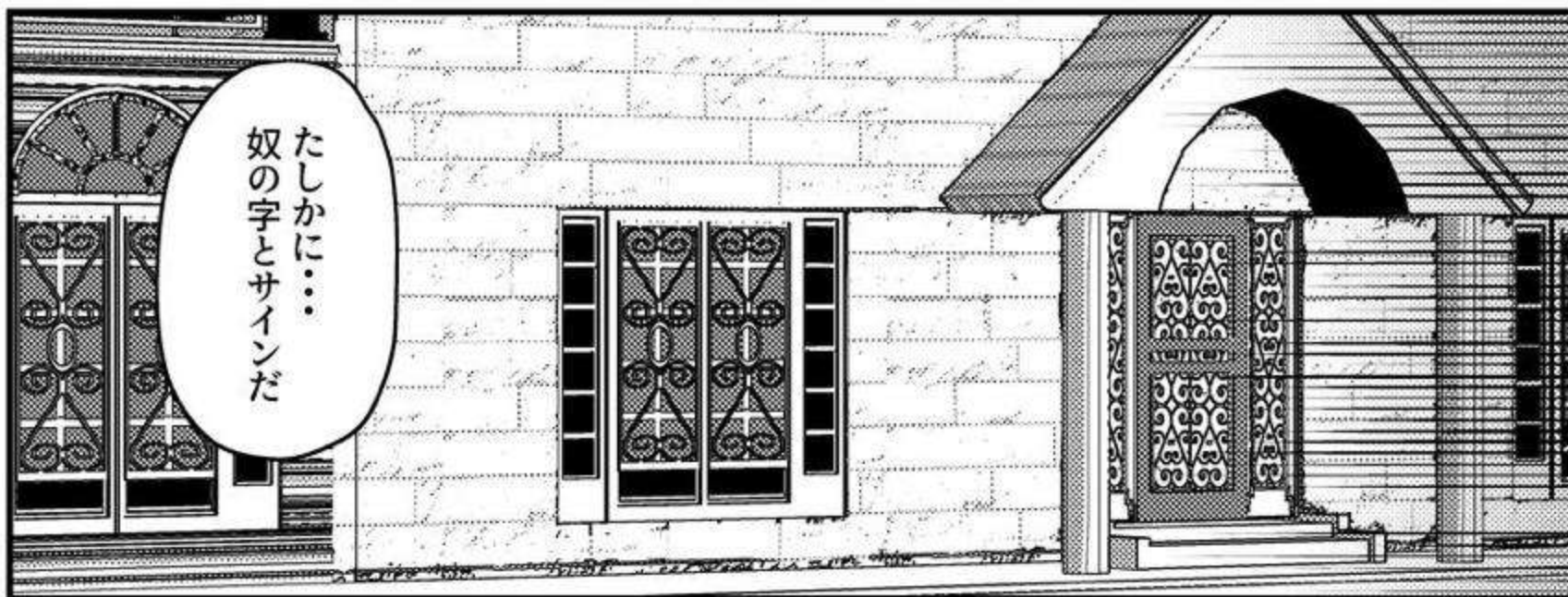
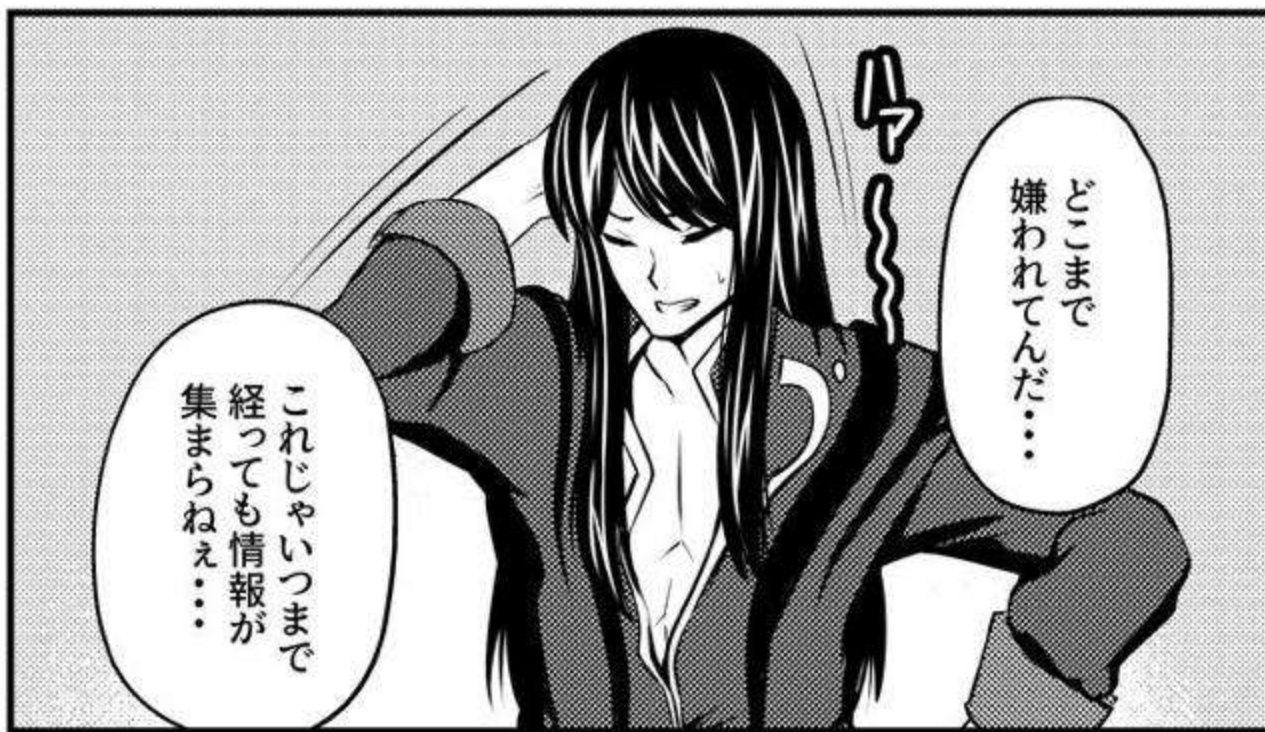
あなたの事はいろいろ  
聞いてるんですよ

今日の勉強はこれで  
終わりですよ  
淫らな姫様

退屈な軟禁生活で  
このような行為に  
酔ってしまったこともね

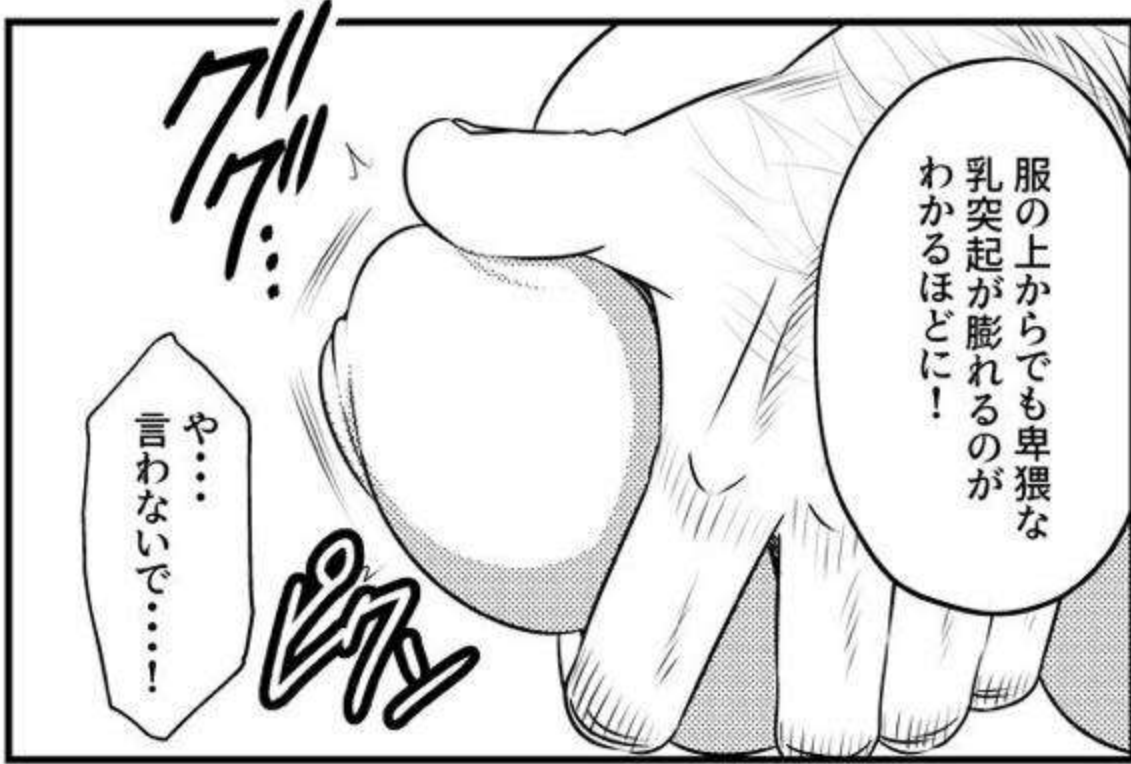
私も騎士団の巡礼に  
付いていき  
アスピオへ帰らないと  
行けなくなりましてねえ





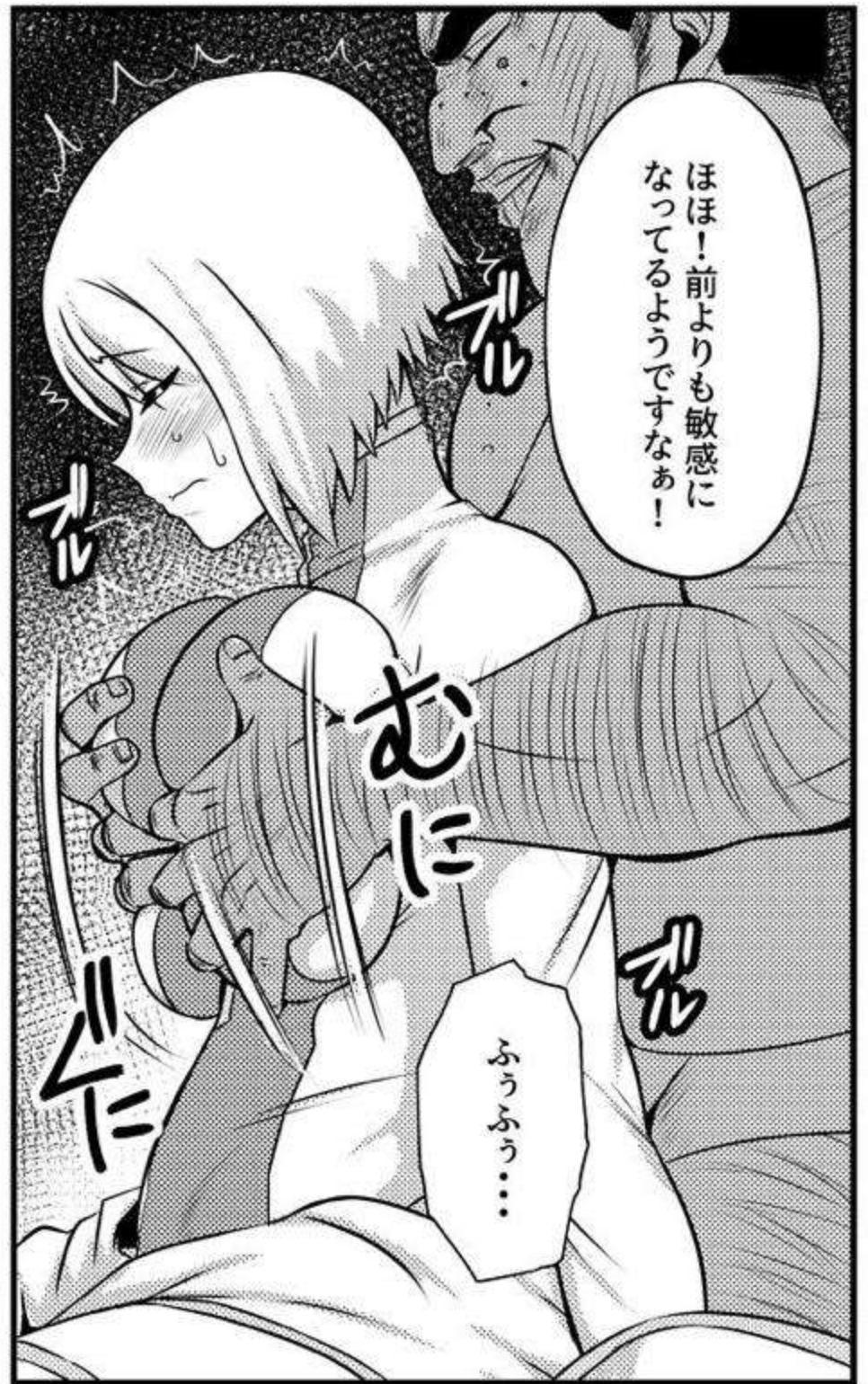






服の上からでも卑猥な乳突起が膨れるのがわかるほどに!

や... 言わないで....!



ほほ!前よりも敏感になつてるようすなあ!

ふ...ふ...ふ...



ふ...んんう!



さて... もうお分かりですね? エステリーゼ様

あふ... はあはあ

やっぱり... こうなつて...

あなたにお願いとはなんなのか

ムッ

ムッ



処理するのにも  
一人では限界でして...

この町は変人の集まりで  
風俗なんてものは一切なく

あ...この匂い...  
懐かしい...



ここに帰ってきてから  
禁欲続きでしてね

んん...う



くくく!  
そうでしょう  
そうでしょう!

ほう?  
まあいいですよ?  
それならばあなたの  
頼みを聞かなくても?

そ...  
それは困ります!



それはあなたも  
同じでしょう?

わたしは...  
そんなこと...



「仕方なく」やれば  
いいのです  
...ねえ?

はは...



久しぶりの……♡

はう……！

そう……これは  
「仕方ない事」……

情報を教えてもらうため  
「仕方なく」この人の  
性処理をしないと……♡

トク

ズンズン



はあ~~~~♡  
わたしの「初めて」を全部  
奪ったおちんぼ♡

懐かしい匂い♡  
硬くて熱くて嬉しい♡

ズンズン

ズンズン











ええ！  
だいぶ溜まって  
ますからね！

いいでしょう！  
どこに出して  
欲しいんですか!?

んあ♡  
それじゃあいっぱい  
射精してください♡



はあはあ♡  
か...顔に♡

顔射...し...♡

ズッ  
ズッ

ズッ♡

ズッ♡





くくく!  
どうでしょうな?  
私ももう歳ですからなあ

あの…情報を  
教えてくれるには  
まだ足りないですよ?



だから…♡  
情報を教えてくれるまで  
わたしがしてあげます♡



やん♡  
意地悪言わないで  
ください



おちんぼ  
さつきよりも  
バッキバキに硬く  
なってるの…♡



知ってるんですよ♡











んっ♡  
んっ♡  
んっ♡

はっはっは  
はっはっは  
はっはっは

はっはっは  
はっはっは



うんっ♡

はっはっは  
はっはっは  
はっはっは



はい♡わたしも……♡  
イキます♡  
中……イっ♡

そろそろ二発目！  
出しても  
よろしいですかな!?

あああ♡  
いっ♡

はっはっは  
はっはっは

はっはっは  
はっはっは

はっはっは  
はっはっは

はっはっは

はっはっは

はっはっは



クッ  
クッ  
クッ

ザッ  
ザッ  
ザッ

ザッ  
ザッ  
ザッ

ズッ  
ズッ





すいません…  
あまりにも  
溜まってたもんで

そこでこの家には  
変態のヤリちん親父が  
住んでるから…  
もしかしたらと思っ



なるほど  
珍しい貴族の女を見つけて  
性欲が抑えられず  
覗き見で自慰してた…



ならば二人して  
「それは」なんだ!?

こ、これは…!



変態だとお!?  
貴様ら!  
反省しているのか!

ひい!  
してます!  
してます!

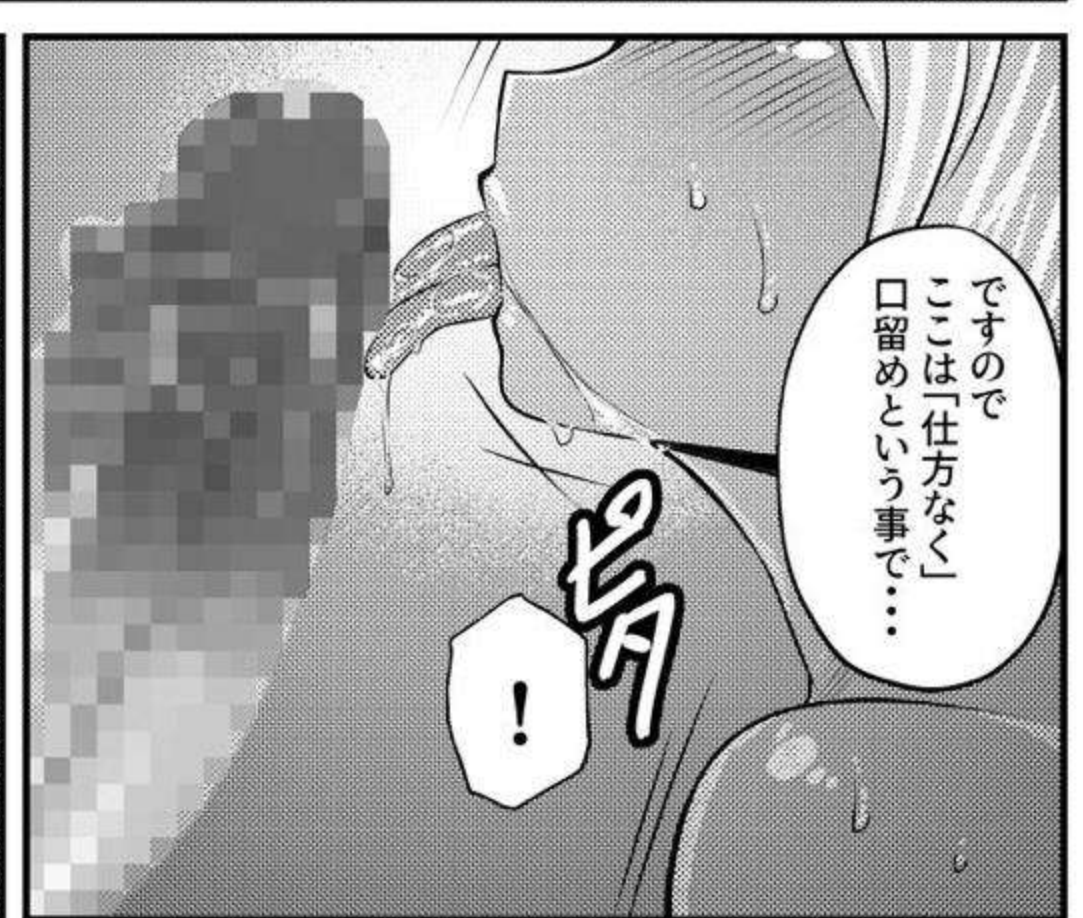


そんなもん見せられたら  
嫌でもこうなっちゃうよ!

んちゅ…♡  
れろれろ♡

また硬く…♡  
ん…ちゅぶ♡

この女は「スイッチ」が  
入ると止まらないんだ





んっ♡  
ぢゅぢゅ♡

ぢゅほっ♡  
ぢゅるるるる♡

マジか！  
こんな淫乱な娘  
だったなんて！

こっちも  
手でやれよ！

ぢゅほっ♡

ぢゅほっ♡



ぢゅぢゅ♡  
ぢゅぢゅ♡  
ぢゅぢゅ♡

ぢゅろろろ♡  
ぢゅほぢゅほ♡

ぢゅほっ♡

良いとこの女が  
俺たちの夢中に  
なって扱いてやる！

ぢゅほっ♡

ぢゅほっ♡



我慢できん！  
出るぞ！

んぢゆるる♡

アヒイ♡

こっちもだ！  
面に出すぞ！

アヒイ



んはあ〜♡♡♡♡

んぢゆるる♡

んぢゆるる♡

んぢゆるる♡

んぢゆるる♡

んぢゆるる♡

んぢゆるる♡

んぢゆるる♡

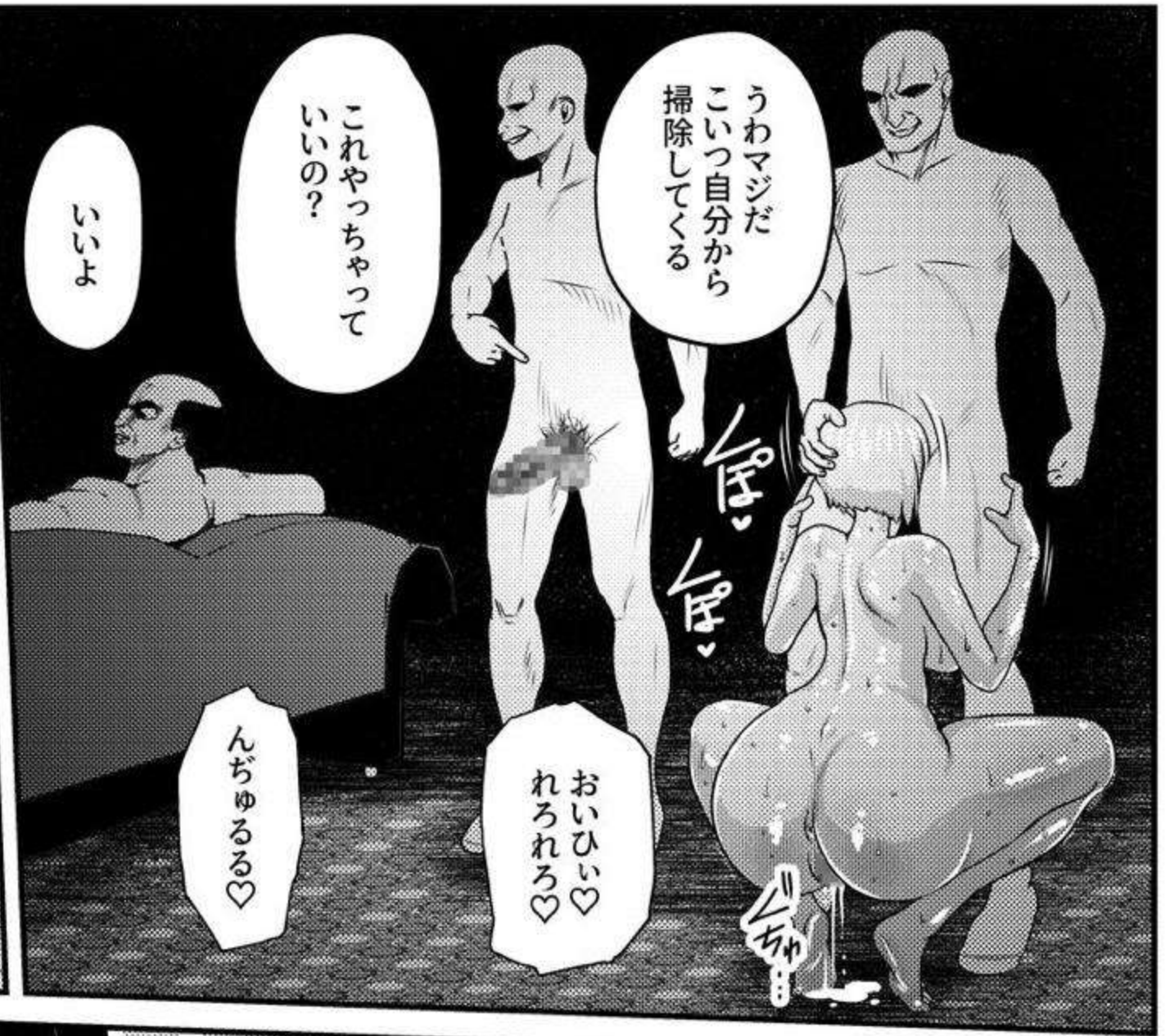
んぢゆるる♡

んぢゆるる♡

んぢゆるる♡

んぢゆるる♡











おお……!  
おっ!  
おおおお♡

ヤバいの♡  
きたあああ♡



バツ





そろそろ出すぞ!

んぐっ!?

こっちもだ!  
中に出すぞ!

首...しめっ!  
くるし...のこ...!



イクっ♡  
口もまんこも...♡  
ケツ穴も♡全部...♡

イク...っイク♡  
イクイクイク♡  
イクイク♡









はっ  
あっ……お  
おおお……!!

うう……あっ……!  
おお……おおお……  
っ♡

んん



む！そろそろ時間の様だ

時間？

あお...おお...  
ほ...お...おっ♡

んお...な、なか...  
ひくひく...♡

うむ...  
そうだ！君たちこの女をモルディオの所に案内してやってくれ

身体が...じんじんする♡  
いつもより...  
激しく何度もイったから？

え!?モルディオ!?

いいだろう？  
そういう約束だったのだ

あ、ああ...  
まあおかげで童貞捨てられたし...

そうだな...  
案内するくらいなら

お...ほ...♡  
あおお♡

ああ...

でもこの感覚...  
好き♡♡

